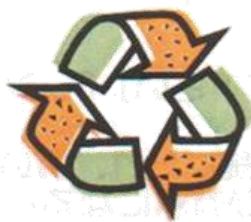


市民がつくる環境都市こまき



# こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議

第2弾!

## 小牧市内で環境活動をされている団体を紹介します!

第62号に引き続き、こまき環境市民会議のメンバーがそれぞれの地域で行っている環境活動について紹介します。



### ① やすらぎみちの景観を守る会

「都市景観形成重点地域の景観を守る会（通称：やすらぎみちの景観を守る会）」は、景観形成を図ることを目的に発足し、令和2年6月に市から「都市景観団体」として認定された団体です（こまき環境広報第53号で紹介）。



### 小牧市のシンボルロード「やすらぎみち」

小牧駅から小牧山へのシンボルロードの西側に位置する「やすらぎみち」を含む一定の区域は、みどり豊かな小牧山を望みつつ歴史・文化を感じる「都市景観形成重点区域」に指定されています（平成15年4月）。「やすらぎみちの景観を守る会」は、この区域の景観維持のための美化活動や建築物等の設置が新たに申請されたときの評価を持続的に行っています。

小牧市のシンボルである「史跡小牧山」が、NHK大河ドラマ「どうする家康」の中で、「小牧・長久手の戦い」として全国放映されたことから、「やすらぎみち」は市民の散歩道としてだけでなく、市外の方のアクセス道路としても親しまれています。



小牧市は、良好な景観の保全・形成を構築するため、令和5年6月1日から「景観行政団体」へ移行しました。景観行政団体とは、景観法に基づき、都市の良好な景観の保全・形成を図るなど、地域の特性を活かした景観行政を担う自治体のことです。この移行は、小牧市民憲章に掲げる「みどりとやすらぎのある美しいまち」の実現を目指します。



やすらぎみちの景観を守る会のメンバーは小牧市の景観を守る活動だけでなく、「寺浦グリーンクラブ」として、寺浦区の美化活動を推進し、たばこの吸殻などのポイ捨てのない清潔で、快適な生活環境を守る活動も行っています。

最後に…

美しい景観の維持は、人々の「癒し」に繋がり、心の健康を育む。特に森林の保全は、人びとを災害から守り、景観の保全によるみどりは「やすらぎ」を与え、豊かな水資源を供給します。地球環境を守るためには、重要な持続的な目標です。

## ② ちこ 兒の森活動グループ



(兒の森で観察できるチゴユリ)

兒の森活動グループは、平成18年4月に一般公開された兒の森を多くの方が安心安全に楽しむことができるよう整備し、また、子どもたちの里山自然体験をサポートするボランティア団体です。現在の会員数は26人で、ノコギリやチェーンソーで木を切ることが好きな人、間伐材を利用した木工作業の好きな人、昆虫や植物が好きな人、子どもが好きな人など様々な人が集まって、思い思いの活動をしています。

### 活動内容

里山は、身近な環境学習やレクリエーション、資源生産を行う場になるだけでなく、生物多様性を保つなどいろいろな機能を持っています。しかし、手入れをしなければそれらの機能が十分に発揮できません。森に手を入れ、子どもたちが自然に触れることにより、自然の豊かな恵みを発見し、森を育て守る心を育む活動へつなげていきます。

#### ① 里山整備

兒の森を訪れる人が安心安全に楽しむことができるよう、林床に光を入れ、草木や昆虫など生きものの多様性を保つために、散策路の草刈りや枯木・風倒木ふうとうぼくの処理、間伐などの里山整備を行っています。



#### ② 里山自然体験

市内の小中学生を対象として、年間6回の里山自然体験講座を開催しています。「ロープ遊び」や「シイタケの菌打ち体験」、ノコギリを使った「間伐体験」など、里山でなければできない自然体験を実施しています。また、家族で参加できる「里山の夜を歩こう」や「キノコの栽培」なども行っています。



#### ③ 各種イベントへの参加

兒の森や私たちの活動を知ってもらうために、バラ・アジサイまつりや小牧市民まつり、環境フェアなどのイベントに参加して、「ヒノキの丸太切り」や「葉っぱのラミネート」など、里山の魅力を伝える自然体験を実施しています。また、出前講座で市内の子供会や保育園に出かけ、「木の実のクラフト作り」や「ノコギリ体験」など、私たちのグループでなければできない自然体験を実施しています。



最後に…

活動日は、毎月第一と第三の日曜日で、午前9時から午後3時までです。私達と一緒に里山活動をしませんか。まずは、兒の森に見学に来てください。併せて、「兒の森活動グループ」活動内容のブログもご覧ください。 →

